

最強の一人芝居フェスティバル

The most valuable Solo-Performance Festival / since 2001

"INDEPENDENT:555"®

5th Season Selection / JAPAN TOUR

インディペンデント:フィフスシーズンセレクション / ジャパンツアー

名古屋公演
NGT
9.5-6

過去5年の上演作から厳選された、
心震わす珠玉の一人芝居が名古屋に集結！

2026年9月5日(土)～9月6日(日) at:昭和 cultura 小劇場

珠玉のセレクション4作品+東海製作2作品!



b「開園まで」2025年初演／本拠地：名古屋

出演 おぐりまさこ (空宙空地) × **脚本** 鹿目由紀 (劇団あおきりみかん) × **演出** 関戸哲也 (空宙空地)
部屋でひとり、あのひとを待つ時間。貴重な週1の逢瀬。彼女は相手にとって完璧な状態をつくるための努力を1ミリたりとも惜しまない。仕事と家庭で疲れているであろうあのひとに、今宵も夢と癒しのめくるめくテーマパークを提供してみせる。あの人の到着まであと25分…。彼女自身も想像しなかった不倫という迷宮に行きついた女の情念と悲哀が胸に迫る。



e「ケンジとトシ」2024年初演／本拠地：大阪

出演 澤井里依 (EVKK) × **脚本** 遠坂百合子 (劇団Little★Star team Spica / リリーエアライン)
大正時代、岩手県花巻から三陸の海の方、重要な製鉄所がある釜石に向けて鉄道が開通した。少年の頃の宮沢賢治と妹トシは、鉄道開通が貧困に苦しむ岩手の人々に希望をもたらしてくれるのではないかと期待に胸を膨らませていた。やがて成長した二人は、それぞれの道を歩き出す。離れていても二人の心は強い絆で結ばれていたが、やがて永遠の別れの時が来る。宮沢賢治作品が彩る二人の愛おしく切ない物語。



g「屋久島の女」2025年初演／本拠地：大阪with東京

出演 丹下真寿美 (T-works) × **脚本** 末満健一 (ピースピット)
古くから屋久島に伝わる《山姫》の伝承と16世紀後半に実在した血の伯爵夫人《エリザベート・バートリー》。二人の狂気とおぞましき運命が時空を超えて重なり合う。美しく哀しく残酷な、ふたりの女の魂のいきつく果てを描いたゴシックホラー一人芝居。2006年初のセレクションにも選ばれた本作に衝撃を受けた丹下が20年の刻を経て作品に新たな命を吹き込み、再びセレクション入りを果たす。



i「よあけのみち」2021年初演／本拠地：盛岡

出演 藤原瑞基 (劇団ちりぢり)
あれから20年。愛犬パトラッシュのミイラを抱えながら、「なぜ自分だけがこの世に残ってしまったのか」という自責の念に苛まれる三十路を迎えたネロ。路上生活の現在は、果たして幸せな未来へと向かっているのか。生きてゆくことの難しさに立ち向かってゆくネロの最後の勇姿?!明らかに詐欺師のはずの彼が語る思い出はあまりに鮮やかで…。誰もが知る世界名作劇場の名作を下敷きにした極上のシュールコメディ。



n1「I dig」2022年初演／本拠地：名古屋

出演 浅井千寿代 × **脚本** 鰐塚わに (劇団わにに社) × **演出** 林優 (劇団わにに社)
頭の固い時代とはおさらばだわ。私、これから罪を犯します。だから穴を掘るんです。めちゃくちゃ素敵な犯罪をするの。石油も温泉も出ちゃうかも。だから、この穴は私のために掘ってる。決して誰かの罪滅ぼしじゃない。私の決意表明よ。そこからダイヤも飛び出てくる。きっとキラキラの私のために今日も血豆と汗と泥をまとい掘り続けるんだわ。ああ、素敵。深夜の公園で穴を掘る女を通して描く人生応援賛歌。



n2「紅葉の下で」2026年新作／本拠地：名古屋

出演 いば正人 (劇団蒼天の猫標識)
今から、香嵐渓で見た老夫婦の話をします。僕、すごく感動したんです。老夫婦を見て。身体に雷が走ったような。今でもその小景が目浮かぶほどで。絵画みたいに。もうね、これ、20年前の話で、20年前から方に喋っているんですが、誰も感動してくれない。僕は感動したのに。つまり僕の伝え方が悪いってことなんですよね。わかります。だって身体に雷を走らせた経験、無いでもんね。すみません、局所的な例えで。これはあの日見た感動を教える物語です。

■ TIME ■

9/5 (土)	15:00~ n2 b e	17:30~ m i g
9/6 (日)	13:00~ n i g i	15:30~ n2 e b

①1本約30分の作品を各ブロック3本連続上演します。作品間には短い舞台転換を行います。この間は基本お席でお待ち下さい。②ブロック間は、約1時間のインターバルとなります。1日通し券のお客様は劇場内やロビーでおくつろぎ頂くか、一旦劇場を離れて再来場することも可能です。③上記は各ブロックの開演時間です。各日の初回のみ開演45分前受付開始、30分前開場。以降はいつでもご入場頂けます。ただし作品上演中の途中入場は出来ません。作品間の転換時にご入場頂けますので予めご了承くださいませ。

■ TICKET ■

WEB予約 [こりっちチケット!V2]
<https://independent.corich.co/in5ss-ngy/common>

①上記アドレスにアクセス。②事前精算 (特典付) と当日窓口精算を選ぶ。③予約フォームからご希望の券種やブロックを選択して予約。

メール予約 [INDEPENDENT]
ticket@independent-fes.com

①お名前 ②ご来場日時(観劇ブロック) ③チケット種類と枚数 ④お電話番号をお伝え下さい。当方からの返信をもってご予約完了となります。当日窓口にてご精算。

特典 いずれの券種も事前決済にてチケットをご購入のお客様には豪華公式パンフ (通常価格500円予定) をプレゼント!

■ INFO ■

(株)INDEPENDENT
TEL= 090-8532-2280 (INDEPENDENT携帯 / 11:00~20:00)
E-mail= info@independent-fes.com
<https://independent-fes.com/>

主催: (株)INDEPENDENT / 共催:  名古屋市中文化振興事業団 [昭和文小劇場] / 芸術文化振興基金助成事業

舞台監督: 北村信也 / 照明: 満洲功 (campana) / 音響: 須川忠俊 (ALTERNATE) / 映像: 相内唯史 (at will) / 宣伝美術: T.A. (at will) / 宣伝美術協力: 勝山修平 (緑屋マジック)

制作: 三坂恵美 (Booster)・竹内桃子 (Booster) / プロデューサー: 相内唯史 (INDEPENDENT) / 制作協力: Loft Plan、ナビプロト、名古屋演劇教室

*最強の一人芝居フェスティバル「INDEPENDENT」® は株式会社INDEPENDENTの登録商標 (登録第5608177号) です。

■ PRICE ■

1日通し券 1DAY ●前売 ADVANCE ●当日 DOOR
¥4,000- **¥4,300-**
土日のいずれか1日で全6作品をご覧頂けます。

U22通し券 Under22 ●前売 ADVANCE ●当日 DOOR
¥2,500- **—**
土日のいずれかで全6作品観劇可。前売のみ22歳以下枚数限定。

1ブロック券 1BLOCK ●前売 ADVANCE ●当日 DOOR
¥3,000- **¥3,500-**
いずれか1ブロック3作品をご覧頂けます。

■ PLACE ■

昭和文小劇場

〒466-0831 名古屋市中昭和区花見通1丁目41番地の2



●地下鉄鶴舞線「川名」2番出口より北へ徒歩2分
●市バス「昭和文小劇場」すぐ(栄18号系統、金山11号系統、昭和巡回系統)
※駐車場は台数が限られますので公共交通機関のご利用をおすすめします。

これが真正銘、最強の一人芝居フェスティバル

それは、一人芝居の異種格闘技...

会話劇、エンタメ、アングラ、アート、朗読劇、マイム、コンテンポラリーダンス、創作落語、コント、ミュージカル、etc... あらゆるジャンル・表現手法のソロアクト作品が連続上演される一人舞台の競演が一人芝居の歴史と表現を更新し続けてきた。「最強の一人芝居フェスティバル」がソロアクトの代名詞を「INDEPENDENT」に書き換える!

そこでは、若手・ベテラン、有名無名は無関係!

一人芝居は決してベテラン芸ではない。たった独りで全てを引き受ける「一人芝居」の前で、有名無名・若手ベテランの区別はない。普段の芝居とはまた違う力が求められる。競演者は心強い戦友であり手強いライバル。互いがプライドをかけて挑むソロアクト、観客の心に一番響くのはどの作品か?

その空間は、劇場であって劇場でない
ワンドリンク付(コロナ禍以後はドリンク提供無し)で開場時間やインターバルをDJが盛り上げ、LEDライトが空間を彩るライブハウスやクラブのような猥雑さとドキドキ感が入り混じった空間。様々な表現手法の一人芝居、若手中堅ベテラン、様々な地域の創り手と観客が入り混じるこのフェスティバルならではの劇場であって劇場ではない空間。独特の空気がそこに流れる...

唯一無二のフェスティバル

「短編一人芝居を連続上演する」というシンプルなコンセプトを貫き続け、2001年のスタートから変わらない作品フォーマットで、地域製作や予選参加作品を合わせると25年で700作品以上を積み重ねてきた。過去に製作された全ての作品と、未来に生み出される全ての作品がライバルという国内演劇史上において、他に前例の無い唯一無二のフェスである。

全国→世界展開する演劇フェス

今や一人芝居に挑戦する猛者たちが全国から集まる場「INDEPENDENT」。2011年の全国7都市ツアーを皮切りに地域版開催で全国展開を開始。あと一歩に迫った47都道府県制覇を目指し日本を駆け巡る!

さらに2018年からは作品単位で海外演劇フェスに参加しての海外展開を開始。将来的な海外からの一人芝居作品招聘とフェス自体の海外進出を目指し、その先にはアジアツアー/ワールドツアーを画策している。

一日楽しみ放題。

これが演劇流夏フェス?!

1日通し券ではリーズナブルなチケット代で丸一日全作品が楽しめる。1ブロック(2~4作品)観たあとは、劇場でインターバルのDJを楽しむもよし、一度劇場を出て劇場周辺でご飯やお茶を楽しむもよし。近くをぶらりと散歩したり、買い物というのもあり。そして劇場に戻れば続く次のブロックを楽しむことが出来る。昼から夜までゆっくりじっくり楽しめる、まさに演劇流夏フェス。

俳優の名刺代わり

通常の演劇作品とは違った能力や工夫が求められる一人芝居は俳優の名刺代わりになると確信し、INDEPENDENTの過去25年700作品以上を徹底的に分析し編み出した公式ワークショップを2023年から開始。座学から創作まで、一人芝居を「知る」「観る」「やる」「創る」を濃密に体験するWSは高い評価を受け、未来の創り手=ライバルたちを生み出す。いつもINDEPENDENTを超えられるのはINDEPENDENTだけ。ライバルは常に過去の自分だ。

5年に一度の約束

INDEPENDENTが、25年の歴史を紡いで来られたのは、5年を1シーズンとして区切り、その集大成として優秀作の再演でツアーを回り続けて来たから。地域と繋がり、地域の作品と創り手を本拠地大阪に招聘し、大阪生まれの作品を日本各地に送り出すことで、創り手や観客の交流の輪を創ってきた。そして多くの創り手が大阪本選・地域招聘のさらにその先にある5年に一度の全国ツアーを目指し、作品を創り磨き続けてきた。この5年に一度の約束は、東日本大震災の年も、巨大台風で機材車が開催地にたどり着けなかった時も、コロナ禍でも守られた。そのバトンは未来の演劇へ...



芸術文化振興基金助成事業